



窪町だより

窪町小学校令和6年度1月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/kubomachi-ps/>

「明日」

あけましておめでとうございます。みなさまには清々しい新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。本年も子どもたちの成長を支えるため教職員皆で研鑽を重ね、努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

【よさを認める】

昨年度の全国学力・学習状況調査では「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の項目において本校の肯定的回答は93.7%で、2年間で9.3ポイント上昇しました。これは、子どものよさを見取り励まし、努力の過程を認めてきた結果だと考えています。子どもを受け止め、肯定し、認めること、やさしさと思いやりを身をもって示すことは私たち大人の役目だと思っています。そうすることで、子どもたちは自ら考え自ら行動する主体性を高めていくのだと考えます。学校は子どもたちが学ぶ小さな社会であり、育ちゆく空間と時間を常に有しています。子どもたちが安心して、明日を楽しみにできる場所にできるよう令和7年の教育活動に邁進していきます。



【遊びと運動】

さて、本校ではこの2年間子どもたちの体力向上、健康、安全について現状を分析し改善策を検討し、専門家の助言や指導を基に様々な角度から課題解決に挑んできました。体育科授業改善をはじめ環境の改善、ICTの活用、保健学習、食育、ゲストティーチャー（サッカーワールドカップ金メダリスト、バレーボール・ラグビー日本代表、医師、EXILEメンバー、東京大学アメフト部、ブラインドサッカー協会ほか）、多くの教科との関連性の模索、児童会活動、学級活動、地域・保護者のみなさまによる朝遊びや休日のこども広場など多くのチャレンジにより子どもたちの遊びや運動に対する意識を変え、日常化を図ってきました。

休み時間の様子を見ていると、思いっきり体を動かして遊んでいる中で、時にじっと友だちが取り組んでいる遊びや運動の動き方を見つめている子がいます。もう少しでできそうな友だちの逆上がりや竹馬を手伝っている子を見ることもあります。「私もやってみたいなあ」「すごいなあ」「できそうだな」という言葉がその表情から読み取れます。遊びや運動は常に直接他者とふれあい、つながりながら身体を通して多くを感じるものです。遊びそのものとの出会いもあれば、自分の新しい動きとの出会いもあります。友だちと一緒にだからこそ感じる共感もあれば、友だちが示す動き方へのあこがれもあります。それらが小さな気づきとなって好奇心や向上心をくすぐっていきます。他者理解と自己理解の宝庫とも言えます。ほかにもルールや道具、場所の工夫や安全への配慮、危険性の予見なども内在されています。遊びや運動のもつ価値は多様です。

1月28日（火）には文京区教育研究協力校としてのこれまでの取組や成果、課題を発表します。当日は授業公開のほかに研究発表、東京学芸大学副学長による講演を予定しています。人数には制限を設けますが、保護者の方への公開も予定しています。都市型の学校としてどのように教育活動を展開すべきか汎用性のある内容を提示したいと考えています。

令和7年が子どもたち、保護者、地域のみなさまにとって輝かしい年となりますことを心より祈念し新年のあいさつとさせていただきます。

校内書き初め展について

(書写担当 鷹野天音)

令和7年1月9日(木)～1月14日(火)に、席書会を行います。1・2年生は各教室で硬筆の書、3～6年生は体育館で毛筆の書に臨みます。新春の候、しんとした厳肅な雰囲気の中で気持ち新たに筆をふるい、のびのびと表現してくれることを楽しみにしています。

また、席書会で書いた作品は「校内書き初め展」として、各学級前に展示する予定です。朝の時間や中休みの時間を活用して、学年を超えて互いの作品を鑑賞し合い、それぞれのよさを認め合う機会としたいと思います。これを機に、普段、字を書くときにも、一画一画丁寧に書くことが習慣づくとういと思っています。

*保護者のみなさまに、ご鑑賞いただける日程は以下の通りです。

1月21日(火)保護者会にて

お子様の学年のみ鑑賞いただけます。

外国語活動・外国語科より

(外国語科専科 松澤 彩子)

本校では将来国際的に活躍できるような児童の育成を目指し、ALTと協力をしながら指導にあたっています。3年生の外国語活動と5・6年生の外国語科は、外国語専科教員が中心となって授業を行っています。

1・2年生の外国語活動の授業では、外国の文化に触れる機会を多くもっています。ALTから自国の文化や行事について聞いたり、それらに関連したアクティビティに取り組んだりしています。年間10回という限られた時間ではありますが、子どもたちは毎回楽しそうに歌を歌ったりゲームをしたりしながら、たくさんの英語に触れています。

3・4年生の外国語活動の授業では「外国語に親しむ」ことを目標に、英語の歌や物語、ゲームなどの活動を多く取り入れています。特に「ストーリータイム」と称した活動では、物語をベースとして歌や手話を交えたジェスチャーを取り入れながら難しい英語表現を無理なく楽しく身に付けています。

5・6年生の外国語科の授業では「外国語によるコミュニケーション能力の基礎を養う」ことを目標に、実生活の中でも使えるような英語表現を中心に学習をしています。毎年11月には5・6年生ともに英語4技能検定(GTEC)に、5年生は毎年2月にTGG(Tokyo Global Gateway)へ訪問することで、子どもたちは普段の英語学習の成果を発揮する機会を得ています。日常会話はもちろん、どんな場面でも自分の考えや思いを英語で伝えられるような児童の育成に努めています。

初めての学芸会頑張りました

(第1学年 橋爪 純子)

小学生になり、初めての学芸会、何をするのも初めて尽くでした。「スイミー」は、国語の教科書に載っていて、このお話への興味関心は、とても高かったです。一人ぼっちになったスイミーが、いろいろな魚たちに出会う中で、どんどん元気になり、最後には、みんなで大きな魚を追い出すストーリーを楽しみました。

自分の役の冠を作り、海の絵などの舞台装飾を子供たちが描きました。そして、何よりも、自分たちの場面を盛り上げるにはどうしたらいいのか、身振り手振りを自分たちで考えました。ただ、セリフの量は多くなく覚えるのは早かったのですが、場面展開が多かったので、ひな壇にいるときから、舞台上がって、まだ戻るまでの動きを繰り返し練習しました。回数を重ねるごとに、子どもたちの動きはスムーズにできるようになりました。そして、本番、いい笑顔で、演技切ることができ、本当に良かったと思います。

これから、みんなでさらに、力を合わせて、勇気を出して、強い心で、大きくなっていくでしょう。子供たちのますますの成長を心より願っております。